

一般財団法人橋梁調査会は、橋梁に関する技術、経済、環境その他の問題についての調査研究、知識の普及を行い、橋梁事業の円滑な発展を図ることによって、国民経済の発展と国民生活の向上に寄与することを目的とした法人です。

(一財)橋梁調査会の概要

(1)事業の概要

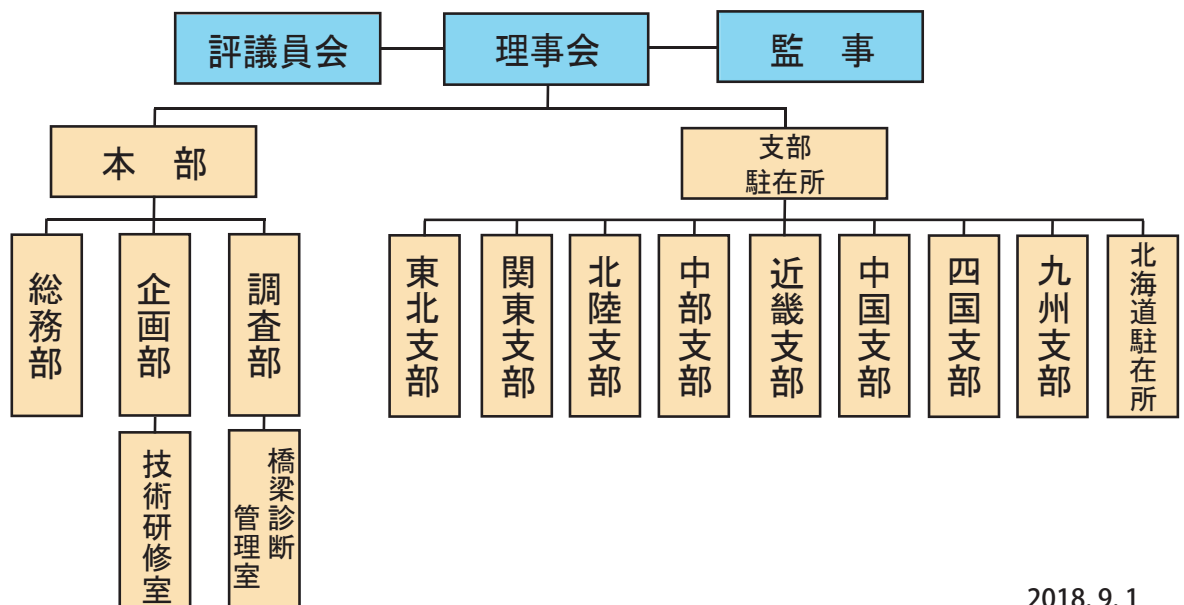
当調査会は、上記の目的を達成するために以下の事業を行います。

1. 橋梁に関する計画、設計、施工法等の調査・研究・開発
2. 橋梁に関する経済、環境等の調査・研究・開発
3. 橋梁の性能評価、審査、検査に関する調査・研究・開発
4. 橋梁の保全に関する調査・研究・開発
5. 橋梁に関する研修会、講習会等の実施、技術の指導その他の人材育成
6. 橋梁に関する情報・資料の収集・管理及び提供
7. 橋梁に関する海外事情の調査及び国際協力
8. アセットマネジメントに関する調査及び研究
9. 前各号に関する事業の受託
10. 橋梁技術に関する研究開発等への助成
11. 道路橋点検等に関する技術研修、試験実施及び資格証明
12. その他当調査会の目的を達成するために必要な事業

(2)有資格者等(技術者数112名) 平成30年9月1日現在

- 工学博士 8名
- 技術士 78名
- RCCM 24名
- 土木学会特別上級技術者数 4名
- 一級土木施工管理技士 78名
- 道路橋点検士 100名
- 米国連邦道路庁(FHWA)公認 橋梁安全点検研修会修了者 9名
- J B E C 橋梁検査(診断)技術研修修了者 108名

(3)組織図



事業の概要

1. 橋梁診断業務

- ◆ 平成16年度より橋梁診断業務を開始し、現在では、「橋梁定期点検要領」（平成26年6月：国土交通省道路局 国道・防災課）に基づき、点検結果を反映した対策区分の判定および健全性を診断する橋梁診断業務を全国的に実施しています。
- ◆ 当調査会の橋梁検査員は自ら現地にて確認を行い、橋梁の部位・部材ごとに補修等の必要性の判定、さらに部材および橋単位で健全性の診断を行います。また、道路管理者の最終的な判断や意思決定のための支援を行います。
- ◆ 橋梁の計画、設計、施工、管理に渡る様々な実績を生かし、公正・中立の立場で橋梁診断を行うと共に、詳細・追跡調査、補修補強計画支援、橋梁管理カルテ等のデータ整備支援等を行います。



2. 人材育成

■ 道路橋点検士技術研修会（旧橋梁点検技術研修会）

「橋梁定期点検要領」（平成26年6月：国土交通省 道路局 国道・防災課）の習得を目的とした「道路橋点検士技術研修会」を定期的を開催しています。

また、道路管理者向けに道路橋点検技術講習会を同時開催しています。

旧「橋梁点検技術研修会」を含めた研修会において、平成6年度～29年度までの累計で 13,601名の方が修了されています。



■ 道路橋点検士制度

上記研修会を修了された方を対象に、国土交通省「民間登録資格（公共工事に関する調査及び設計等の品質確保に関する技術者資格）」の中の「道路橋点検士※1」あるいは「道路橋点検士補※2」に登録する制度です。

登録された方の数は、道路橋点検士 6,090名、道路橋点検士補 895名です。（平成30年4月1日現在）

※1：国交省技術資格登録平成27年1月、道路橋の定期点検、診断に関する業務実績1年以上（道路管理者は2年以上）が必要です。

※2：国交省技術資格登録平成28年2月、道路橋の定期点検、診断に関する業務実績は必要ありません。

■ 講師派遣

国土交通省、地方自治体等の技術者を対象とした橋梁点検講習会等に講師を派遣します。

3. 橋梁の維持管理・補修等に関する検討業務

- ◆ 橋梁診断業務により得られた知見や橋梁の計画・設計・施工・管理の様々な業務実績を活用し、高度・特殊な技術を要する橋梁の補修・補強、及び橋梁を合理的に維持管理できるような計画に関する検討・立案を行います。
- ◆ 「三大損傷」（疲労、塩害、アルカリ骨材反応）など典型的な症例の対策及び、耐震補強などの高度・特殊な橋梁の補修・補強対策等について豊富な実績を有し、有識者委員会等、専門家集団による高度な検討を行います。

(1) 橋梁における三大損傷調査等

全国の三大損傷に関する詳細調査、補修・補強対策の検討等に豊富な実績を有します。

＜受託実績＞

鋼床版の損傷の詳細調査及び対策の検討（関東地方整備局）

(2) 高度・特殊な橋梁の補修・補強対策に関する検討

＜受託実績＞

震災により損傷した橋梁の詳細調査及び補修・補強方法の検討
（九州地方整備局）

(3) 合理的な管理手法の検討

アセットマネジメントに関する検討等の実績を有します。

＜受託実績＞

道路の合理的な管理手法検討業務（関東地方整備局）



4. 橋梁の設計施工法等に関する検討業務

(1) 橋梁の設計、施工法に関する調査及び検討

(2) 離島架橋の設計・施工技術及び社会経済調査

＜受託実績＞

離島振興策として計画・実施されている橋梁について、技術検討委員会の運営、設計・施工法に関する調査及び社会経済調査を実施（宇和島市、宮城県）

九島大橋



5. 橋梁関連技術支援業務

経験豊富な技術者をアドバイザーとして配置し、公正・中立の立場で発注者支援を行います。
総合評価方式等の発注方式において、公正・中立の立場で発注者支援を行います。

(1) 橋梁設計アドバイザー業務・橋梁現場アドバイザー業務

＜受託実績＞

アドバイザーによる橋梁の設計/製作/施工等に関する発注者支援（九州地方整備局）

(2) 総合評価方式等の新たな発注方式における発注者支援業務

＜受託実績＞

総合評価方式における発注者支援（四国地方整備局）

(3) 自治体支援業務

地方自治体の抱える橋梁のメンテナンスをはじめとした様々な課題に対し、解決のための支援を行います。

- ◆ 道路橋点検結果の助言
- ◆ 健全度判定会での助言
- ◆ 現地調査・現地研修での助言
- ◆ 措置が必要な道路橋に対する対策方針に関する助言
- ◆ 修繕等設計業務の工法選定の助言

＜受託実績＞

（島根県、京都府）

6. 社会インフラ用ロボット開発導入等支援業務

- 橋梁のメンテナンスを取り巻く社会情勢をうけ新技術を活用したインフラマネジメントの開発を支援します。
- ◆社会インフラの維持管理等へのロボットの開発導入に向けて、橋梁分野での現場検証、評価等の支援を行います。
 - ◆橋梁点検の合理化のための装置・設備等の開発・導入に関する検討を実施します。

<受託実績>
(国土交通省、NEDO)



現場検証に参加したロボットの例

7. 橋梁技術の開発・収集・普及

以上の業務の他、橋梁技術の開発助成や情報収集等様々な業務を行います。

(1) 橋梁研究開発助成

橋梁技術に関する研究開発助成を行っています。

(2) 海外調査

橋梁に関する国際会議等に参加し、最新情報を収集しています。

<主な実績>

- U J N R (日米橋梁ワークショップ)
- P I A R C (世界道路会議)
- R E A A A (アジア・オーストラレイシア道路技術協会)
- I A B S E (国際構造工学会)
- f i b (国際コンクリート連合会)
- I A B M A S (橋梁の管理と安全に関する国際協会)
- 吊構造橋梁管理者会議

(3) 出版

- 既設橋梁のノージョイント工法の設計施工手引き(案)
- 道路橋の補修・補強計算例(H19.11)
- 道路橋の補修・補強計算例Ⅱ(H26.11)
- 保全技術者のための橋梁構造の基礎知識[改訂版](H27.4)

(4) 講演会、セミナー等の開催

- ◆賛助会員対象特別講演会
- ◆国際橋梁シンポジウム
- ◆橋梁メンテナンスセミナー(賛助会員限定)



世界道路会議の道路橋セッションの状況

所在地及び連絡先

本部 (総務部、企画部、調査部)

〒112-0013 東京都文京区音羽2-10-2 音羽NSビル8階

03-5940-7788(代表)

企画部 03-5940-7794

調査部 03-5940-7791

東北支部 〒980-0014 仙台市青葉区本町2-1-29 仙台北町ホンマビルディング10階

022-221-5301

関東支部 〒330-0844 さいたま市大宮区下町1-42-2 TS-5BLDG.5階

048-657-6085

北陸支部 〒950-0965 新潟市中央区新光町10-3 技術士センタービルⅡ 8階

025-281-3813

中部支部 〒460-0002 名古屋市中区丸の内1-16-15 名古屋フコク生命ビル5階

052-218-3151

近畿支部 〒540-6591 大阪府中央区大手前1-7-31 OMMビル12階

06-6944-8551

中国支部 〒730-0013 広島市中区八丁堀15-10 セントラルビル5階

082-511-2203

四国支部 〒760-0026 高松市磨屋町3-1 合田不動産磨屋町ビル6階

087-811-6866

九州支部 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-9-1 東福第2ビル2階

092-473-0628

北海道駐在所 〒060-0004 札幌市中央区北4条西7-1-5 NCO札幌ホワイトビル8階

011-213-1867